



—家づくりを学べる体感型ショールーム— 中部エリア第二弾『セキスイハイムミュージアム三重』オープン

■「納得体感エリア」、「満足コンサルエリア」でお客様をサポート

■VR、プロジェクションマッピングなど先進の体感型プレゼンテーション設備を充実

2018年12月6日

セキスイハイム中部株式会社

セキスイハイム中部株式会社(本社:名古屋市東区 代表取締役社長:吉田匡秀)は、12月15日(土)、中部エリアとしては2施設目となる体感型ショールーム『セキスイハイムミュージアム三重』(三重県四日市市)をオープンします。

当社は、セキスイハイムグループの体感型ショールーム全国展開の一環として、2018年5月にモデルハウスとの複合型ショールーム『ハイムギャラリーパークみなと』(以下、HGPみなと)(名古屋市港区)を開業し、オープンから半年で500組を超えるお客様にご来場いただき高いアンケート評価をいただいています。第二弾となる『セキスイハイムミュージアム三重』は、『HGPみなと』のコンセプトを受け継ぎながら、三重エリアに特化したコンテンツを加え、周辺地域にお住まいのお客様に、納得・体感型の家づくりを手軽に、身近に感じていただくことを目的とします。

これから家づくりを検討されるお客様の納得度を高める「納得体感エリア」に加え、ご契約後の打ち合わせスペースを充実させた「満足コンサルエリア」も併設し、ご契約前・ご契約後ともに、総合的な信頼関係を構築していくためのショールームを目指します。

『セキスイハイムミュージアム三重』の概要

■「納得体感エリア」、「満足コンサルエリア」でお客様をサポート

「納得体感エリア」は、「日本の家づくりZONE」「ファクトリーZONE」「未来の暮らしZONE」の3つのZONEから構成される、複数の映像システムを導入した体感型の学習スペースです。

「満足コンサルエリア」は、主にご契約後のお客様にじっくり仕様などをご検討いただくためのスペースです。間取り3Dシミュレーション「アルファス※1」システムなどを備えています。

■VR、プロジェクションマッピングなど先進の体感型プレゼンテーション設備を充実

1. 体験学習を可能にする先進プレゼンテーション

家づくりにおいて重要なポイントを、わかりやすくご理解いただくため体感シアター、VR(Virtual Reality、仮想現実)、対話型コンテンツなど、先進のプレゼンテーション設備を導入しました。

2. これからの家づくり、長寿命の住まいづくりを学ぶ

人生100年時代において重要になる住まいの高耐久性について、自然災害への対抗力、住まいの寿命に関する一般知識、構造比較などの視点からわかりやすく解説します。

3. 未来の暮らしと今選ぶべきスマートハウスを学ぶ

住まいとエネルギーのあるべき姿、スマートハウスの知識や現状、将来の発展性について、AIスピーカー等を用いて「未来の暮らし」を体験することで、これからの家づくりが理解できます。

■施設概要

◎名称: セキスイハイムミュージアム三重

◎所在地: 三重県四日市市市鵜の森1-3-20 荻ビル7階 059-357-1511

◎オープン日: 2018年12月15日(土)

◎開館時間: 10:00~18:00

◎定休日: 毎週火曜日・水曜日(他、セキスイハイム中部(株)の定休日に準じます。)

※ご見学は、予約制となります。

『セキスイハイムミュージアム三重』のねらい

セキスイハイムグループが全国展開を進めているショールームは、体感型プレゼンテーション設備や模型などを使い、家づくりの情報を分かりやすくご提供することで、ご納得、ご満足いただける家づくりをサポートすることを目的とします。『セキスイハイムミュージアム三重』は、その目的を基本にしながら、家づくりに必要な一般的な情報をご提供することで、住宅購入をご検討中のおお客様の判断基準形成をサポートします。また、セキスイハイムをご契約いただいたお客様のために、じっくり相談しながら家づくりをすすめていただくためのミーティングスペース「満足コンサルエリア」も併設し、家づくりプロセス全体での信頼関係の構築を図ります。

「セキスイハイムミュージアム三重」は、住宅展示場ではなくオフィスビル内での開設ですが、リビングやホームシアター、ラウンジなど、洗練されたモデルルームも備えています。セキスイハイムの工法・構造を体感しながら学んでいただくために、「ハイム・ストラクチャープロジェクション」、「基礎・構造体展示」などの新たな体感設備も採用しました。

『セキスイハイムミュージアム三重』の構成～「納得体感エリア」、「満足コンサルエリア」でお客様をサポート

家づくりをご検討中のおお客様へ分かりやすく情報をお伝えする「納得体感エリア」と、ご契約後のおお客様の円滑なお打ち合わせをサポートする「満足コンサルエリア」のふたつのエリアで構成されています。

◆「納得体感エリア」

「日本の家づくりZONE」「ファクトリーZONE」「未来の暮らしZONE」から構成される、映像システムや模型、構造体展示などを導入した体感型の学習スペースです。

日本の家づくりZONE：中部・東海エリアで高い確率で発生すると予測されている南海トラフ地震、さらには昨今、三重エリアに大きな被害をもたらしている台風・豪雨被害への対策の重要性について、体感シアターの映像や音だけでなく特殊演出により、ご紹介いたします。さらに、日本の住宅の考え方を軸に、長く住み継ぐ家づくりを考えるための多面的な情報提供と体感設備を充実させました。

ファクトリーZONE：セキスイハイムが工場生産やユニット工法にこだわった理由について説明します。工場生産による品質・性能の安定性や、長期にわたってお住まいいただくための快適性、品質保証やライフサイクルコストメリットなどまさに「一生モノ」の住まいに必要な条件を発見いただけます。

未来の暮らしZONE：理解が難しいとされているスマートハウスの経済メリットや環境貢献効果の解説、さらには減災への啓蒙にも取り組んでいます。



▲日本の家づくりZONE(イメージ)



▲未来の暮らしZONE(イメージ)
対話型コンテンツ「これからの暮らしとエネルギー」など、スマートハウスを中心とした未来の住まいを紹介

◆「満足コンサルエリア」

セキスイハイムをご契約いただいたお客様のためのミーティングスペースです。ご計画の間取りを、3Dシミュレーションで確認できる「アルファス※1」システムのプレゼンテーションルームや、仕様決めのための多彩な部材サンプルをご用意し、新居のイメージを見える化することで、お住まいになってからの満足度を高めることを主眼とします。また、営業担当以外に、設計、インテリア、エクステリア、資金担当など各専門スタッフが、隣接する同フロアの事務所に在籍しているため、随時、的確なアドバイスをご提供することができます。

※1 アルファス：株式会社ワイドソフトデザインが開発した計画の間取りを立体的にシミュレーションできるシステム

『セキスイハイムミュージアム三重』の特長～先進の体感型プレゼンテーション設備を充実

VR やプロジェクションマッピングなどの体感型設備を充実させ、家づくりに必要な情報を分かりやすくお伝えするための工夫を凝らしました。これからの家づくりやスマートハウスについても解説します。

1. 体験学習を可能にする体感型の先進のプレゼンテーション設備

以下の5つの先進の体感型設備を装備しています。

①**災害体感シアター**:全国各地で起きている昨今の自然災害、ならびに三重県での被害予測を、ボディソニックチェアの体感振動や風の演出によりご体感いただけます。災害の脅威をご認識いただき、対応策を考えるきっかけをご提供します。

②**ハイムユニットVR**:ヘッドマウント型の360° VR体感設備を導入しました。仮想空間に入り込み、建物の仕組みや構造、建築工程を見ることができます。

③**ハイム・ストラクチャープロジェクション**:自然災害にも耐えうる強靱さを長期的に維持することができるセキスイハイムのボックスラーメン構造について、大型のプロジェクションマッピングにより解説します。

④**対話型コンテンツ**:壁に描かれたイラストにタッチすると、そのポイントに関連するプロジェクションマッピングがスタート。興味をお持ちいただいた内容について、対話するように解説します。

⑤**未来型スマートハイム体感ルーム**:スマートハウスのメリットを、AIスピーカー、プロジェクションマッピングを使い、キャラクターと対話しながら生活場面の中で体験していただけます。



▲災害体感シアター(イメージ)



▲ハイムユニットVR(イメージ)



▲ハイム・ストラクチャープロジェクション(イメージ)

2. これからの家づくり、長寿命の住まいづくりを学ぶ

「日本の家づくり ZONE」と「ファクトリーZONE」では「災害体感シアター」等を用いて、長く住み続けるための家づくりのポイントをご紹介します。多発する災害への対策、住まいの寿命についての一般知識、日本の住宅建築の構造・工法比較を踏まえ、セキスイハイムの建築手法である工場生産・ユニット工法についてご理解いただけます。基礎・構造体展示にも触れながら、当社のブランドスローガンである「時を経ても、続く価値」を実現するための家づくりの方法が学べます。

3. 未来の暮らしと今選ぶべきスマートハウスを学ぶ

未来の暮らしとスマートハウスの知識や今後の発展性について3つのパートにわけて解説します。

①**暮らしの進化年表**:1964年東京オリンピックから、2020年東京オリンピックまでの技術の進化と暮らしの変化、その延長線上にスマートハウスがあることをご紹介します。

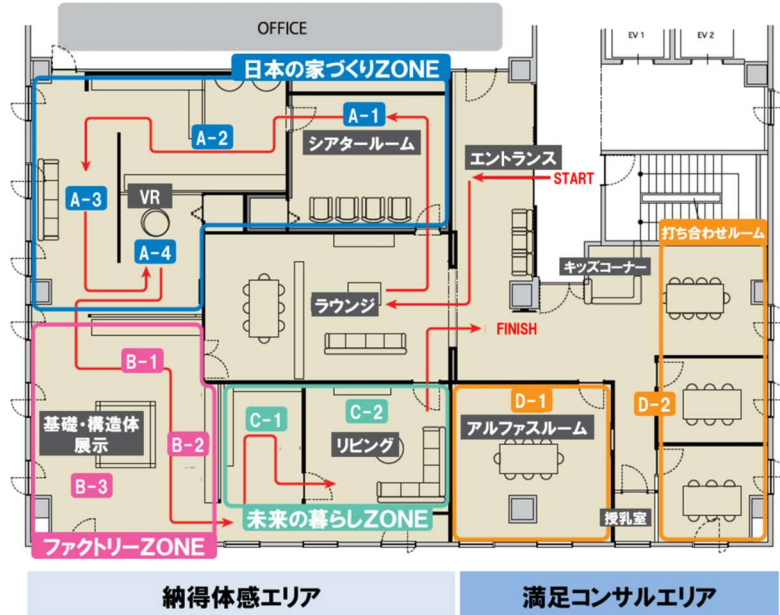
②**これからの暮らしとエネルギー**:暮らしとエネルギー、住まいとエネルギー、現在と未来について体系的にご紹介しています。電力価格の上昇リスク、自然災害と停電の関連性の他、ZEH^{※2}の必要性、電力の自給自足、EV(電気自動車)の活用、スマートコミュニティなどについて、対話型コンテンツで映像と音声を用いてわかりやすく解説します。

③**未来型スマートハイム体感**:セキスイハイムのスマートハウス「スマートハイム」でのHEMS^{※3}制御(ためる、つかう)や、将来の拡張性などについて一日の暮らしを再現する寸劇風プレゼンテーションで親しみやすくお伝えします。

※2 ZEH:ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

※3 HEMS:コンサルティング型ホームエネルギー管理システム「スマートハイム・ナビ」

『セクスイハイムミュージアム三重』フロアガイド



【納得体感エリア】

A 日本の家づくりZONE

- 日本の住まいづくりについての一般的な知識・基準を、シアター、説明パネル、模型、VRなどの映像システムを通じ、体感しながら学んでいただけるスペースとなっています。
- モデルルームのような洗練されたラウンジから案内がスタートします。
- ホームシアターを模した体感シアター(A-1)では、三重エリアに被害を及ぼす巨大地震や台風・豪雨などを解説する映像により減災住宅の重要性・必要性に気づいていただけます。
- 一般的な日本の住まいの寿命や、工法・構造別選び方など、長く住むことができる家に必要な基本要素を、説明パネルや模型などを通じてご紹介します(A-2)。
- セクスイハイムのボックスラーメン構造を例に、長寿命の住まいの条件を確認します。ハイム・ストラクチャープロジェクション(プロジェクションマッピング)(A-3)によるわかりやすい解説です。
- ハイムユニットVR(A-4)で建物の仕組みや構造、建築工程を見ることができます。

B ファクトリーZONE

- セクスイハイムの特長である工場生産・ユニット工法について説明します。
- 高度工業化技術により、もたらされる品質・性能の安定性や長期にわたる品質保証を、説明パネル(B-1)や基礎・構造体展示(B-2)によりわかりやすく解説します。
- 品質の安定性により生まれる快適性、メンテナンスコストを抑える素材など、時を経ても価値を維持できる住まいの重要性についてご理解いただけます(B-3)。

C 未来の暮らしZONE

- 住まいの未来について、「スマートハウス」を軸にわかりやすく説明します。
- 暮らしの進化年表で、通信や移動、生活の観点で時代背景とともにテクノロジーの進化を紹介し、スマートハウスがその延長線上にある未来住宅であることの理解を促進します。
- 対話型コンテンツ「これからの暮らしとエネルギー」(C-1)で、社会・暮らし・住まいとエネルギーの関係を紹介します。
- 「未来型スマートハイム体感」コンテンツ(C-2)により、現在のスマート性能、将来の拡張性を解説します。

【満足コンサルエリア】

- セクスイハイムをご契約いただいたお客様のためのミーティングスペースです。
- ご計画の間取りを、3Dシミュレーションで確認できる「アルファス」システムのプレゼンテーションルーム(D-1)や、仕様決めのための多彩な部材サンプル確認しながら打ち合わせできるミーティングルーム(D-2)を設けました。
- キッズコーナーや授乳室なども設けていますので、お子様連れの場合でも安心してお打ち合わせいただけます。

『セキスイハイムミュージアム三重』 ショールームエントランスとロゴ



▲エントランス(イメージ)



SEKISUIHEIM MUSEUM

セキスイハイムミュージアム三重

参考 [セキスイハイム中部 株式会社 会社概要]

- ◎設立：1985年3月
- ◎資本金：3億円（積水化学工業株式会社 100%出資）
- ◎代表者：代表取締役社長 吉田匡秀（よしだまさひで）
- ◎売上高：428億円（2018年3月決算）
- ◎従業員数：640名（単体）（2018年4月現在）
- ◎事業内容：1. ユニット工法住宅の販売・設計・施行管理「セキスイハイム」(鉄骨系)・「ツーユーホーム」(木質系)
2. その他 集合住宅・在来工法等建築工事全般
3. 宅地分譲等不動産取引
- ◎事業所：本社（名古屋市）、名古屋支社、名古屋西支店、名古屋北支店、南営業部、名古屋東支店、豊橋営業部、分譲営業部、特販営業部、北陸支店、岐阜支店、三重支店
- ◎展示場：愛知エリア 28 拠点、岐阜エリア 8 拠点、三重エリア 7 拠点、北陸エリア 3 拠点(2018年11月現在)
- ◎グループ会社：セキスイファミエス中部株式会社
- ◎本社所在地：〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 1-13-3(NHK 名古屋放送センタービル 8F)

<この件に関するお問い合わせは下記までお願いします>

セキスイハイム中部株式会社

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 1-13-3(NHK名古屋放送センタービル 8F)

・本社 営業統括部 企画部 三宅 TEL:052-955-8935

・三重支店 企画管理部 営業企画課 奥村 TEL:059-357-1511

※現地取材をご希望の方は、オープン前日の12月14日(金)11:00~18:00でご案内いたします。

事前に、奥村(Tel:059-357-1511)までお問い合わせください。